

一般質問通告書

受領日時 令和7年8月19日 午後 1時35分 8番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 こども基本計画の予算配分記載について	(1) 12月末日途に向けて開示に向けて作業が進んでいるものと思われるが現在の進捗状況を確認したい。こども基本計画の策定にかかった費用総額や過去5年間の外部委託実績は。そのうえで、編集作業の外部委託と町独自の作業とでは、それぞれにどのような強み・弱みがあると考えているか。また、今後は町民が予算や施策を理解し、意見できる仕組みをどのように組み入れていくのか。
2 8月8日の内川川の状況、8月15日の当町中心部の状況について	(1) 今年度と3年前の降水状況や河川水位の比較から、どのような傾向が見えてきたか。それらを踏まえ、次期の防災体制や避難計画の中で、どの部分を重点的に高めていく必要があると考えているか。
3 職員研修状況や千代田区や秋田県からの出向は	(1) 職員の研修はオンラインで行っていると総務課から提示があったが、その成果はどのように反映されているか。また、JIAMやJAMP研修などでの外部人材との対話型研修が意識改革においても重要なことは議員時代の町長自身も分かっていると思うが、総務課は職員が自席で参加しやすいオンラインの研修を前提にしている。これで良いのか。改めて町長の見解および今後の目標数値を含めて具体的に問う。 (2) 民間企業では、新卒、中途に関わらず新入社員の研修で、業務に必要な知識とマインド、リレーションを構築することが当然ある。また、体系化された教育プログラムにより、継続的・定期的なオンライン・OJTの職員教育により、新たな社会の知識のアップデートやセキュリティ等の定着化を図っている。このことが、リテンション（離職防止）にもつながる。五城目町の新入社員教育はどのようなになっているか。また、研修も本人の希望性のため、受講者は少なく、若手や忙しい人ほど受講できない組織文化となっているのではないか。当町の研修体系はどのようなになっているか。 (3) 千代田区から当町、当町から千代田区へそれぞれの職員交流を行うことで、情報システムやふるさと納税、様々な新しい施策に対応できる。また、総務省などからも職員に出向してもらうことが検討できる。県内でもこれまで副町長や教育長など三役を県外から採用するケースも増えている。外部人材の活用は風通しの良い役場を生み出すためにも重要。当町の考えは。町長も議員時代に述べていたように今後検討するだけではない具体的な答弁を求める。

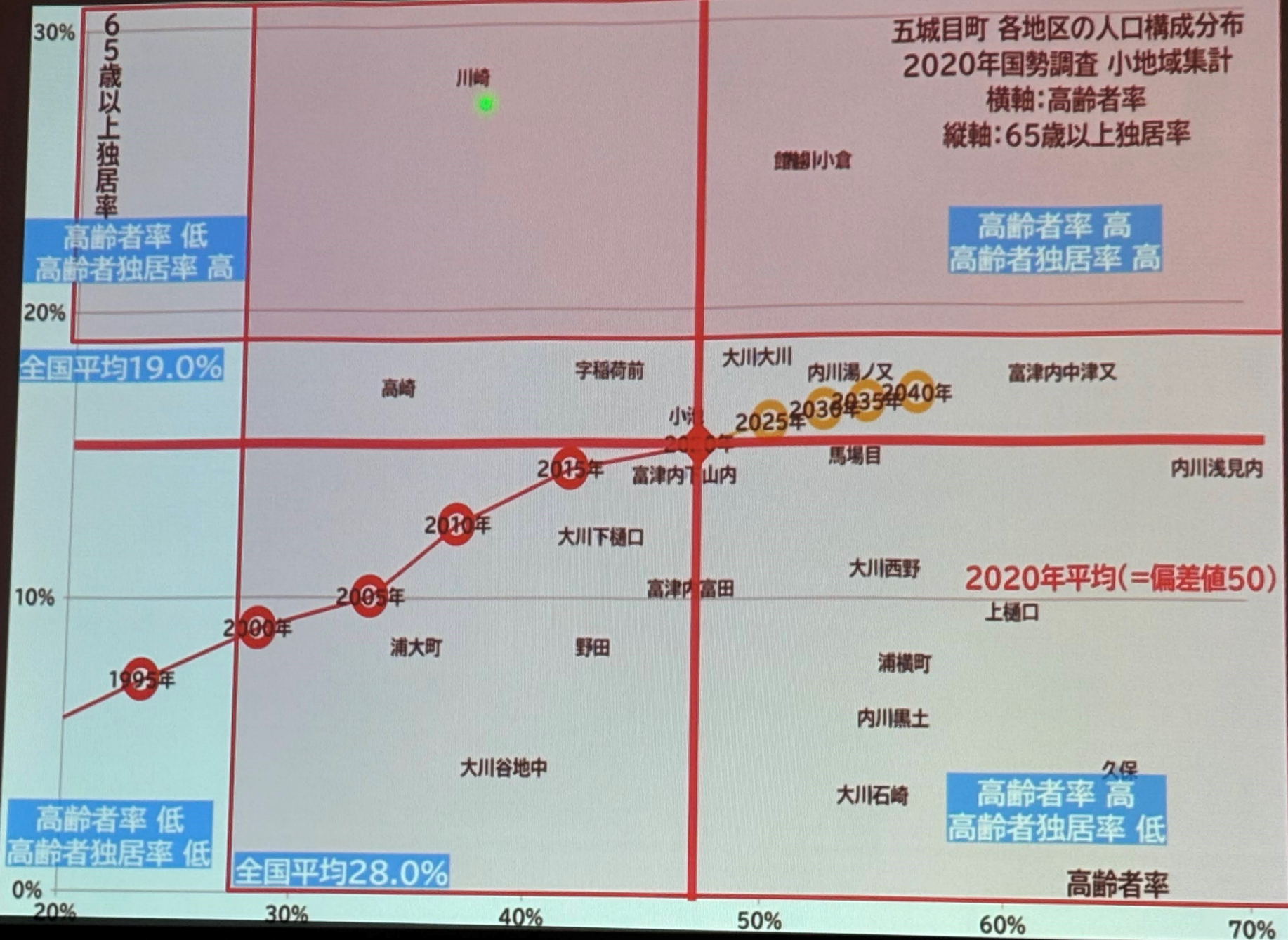
4 小規模多機能自治体を目指すべき	(1) 町長も参加した小規模多機能自治体の講演会では、当町の集落ごとの高齢者率、高齢者独居率を国勢調査より算出したデータや、今後の当町の人口構成図も明らかになっていた。五城目町もぜひ小規模多機能自治体ネットワークに参加し、EBPM に基づいた職員向け研修を行うべきでは。町の考えは。
5 町長就任から半年	(1) 5本の柱をかかげて当選した町長の現状の改革状況は何パーセント進んでいると考えているか。その改革に対して点数をつけるとすれば何点か。その点数の理由は。 (2) 町政のかじ取り役は町長であるが、実際の行動は役場職員一人ひとりである。就任直後から事務事業の不祥事が続いた中で二人体制の徹底なども周知された。役場職員が今後さらに課題が多くなる町の未来に向けて内発的に動いていくためには、適切な研修や外部人材登用、各課横断チーム編成、DX 推進リーダーの任命など様々あるが、どのような具体的施策が必要と考えるか。上記2つの質問は、課が作成する原稿ではなく、ぜひ町長自身の言葉で答弁を。
6 システム費の総額と内訳、調達方法やコスト意識について	(1) 役場内の情報システム（電算共同システム、メール、稟議・文書管理、グループウェア、ネットワーク、端末管理、セキュリティ監視など）の年間総費用（直近3か年）および購入／リース／保守／ライセンス／回線／クラウド利用料等の費目別内訳、一般財源・特財別の構成を一覧化して提示してもらいたい。その上で、情報システムにおける町の課題は何と認識しているか。 (2) 上記総費用を職員1人あたりに換算した額（直近3か年の推移）は。 (3) 費用構成のうち支出額上位3システムのシステム名・提供事業者・契約方式（随契／指名／一般競争など）・契約期間・年額は。 (4) 上位3システムについて、オンプレミス⇔SaaS（クラウド）の代替可能性評価（機能要件、セキュリティ、SLA、可用性、DR/BCP、TCO 比較、ベンダーロックイン回避策）を実施した有無と結果はどうか。未実施の場合、実施予定時期は。 (5) 個々の金額やシステム運用が妥当であるかどうかをチェックできる役場内のシステム担当者の複数育成が急務であるが、現時点でシステム担当者は何課の誰か。それはチーム体制になっているのか。また、その人達はどのような資格やシステム研修内容を有しているのか。

	(6) また、その各種システム導入時の要件定義や費用対効果は副町長や町長、総務課長含めてどのような稟議や査定で進めているのか。 (7) 庁舎内にある Wi-Fi 機器 (AP/ルーター) の台数、導入年、保守契約の有無、ファームウェア更新の主体・頻度、サポート期限を提示してもらいたい。今後のメンテナンス計画も合わせて提示を。 (8) 昨今、どの自治体でもガバメントクラウド利用のコストが高騰していると聞くが当町の ID 数、利用料はいくらか。また、この点に関しての町の対応策は。 (9) 2013 年から導入している秋田県町村電算システム共同事業組合について、独自調達時とのメリット (コスト効果、運用効果) は何か。また検証しているか。 (10) 総務課以外でのシステム調達の有無、導入しているシステム、価格、妥当性の評価結果、年間それぞれの運用保守コストは。特にセキュリティの管理方法はどのように進めているか。
--	---

五城目町 各地区の人口構成分布
2020年国勢調査 小地域集計

横軸: 高齢者率

縦軸: 65歳以上独居率



2020年の五城目町が「100人の自治会」だったら？

	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
あなたの年齢					
計	145	123	100	78	58
0-14歳	17	11	7	4	3
15-64歳	87	67	46	33	22
65歳以上	41	45	47	41	33
65-74歳	24	20	21	14	10
75歳以上	17	25	26	27	23
85歳以上	4	7	10	10	11
世帯数 (うち独居)	46 (8)	45 (10)	41 (11)	34 (10)	26 (8)
世帯あたり	3.16	2.76	2.45	2.33	2.27